



組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」 全ての子どもが安心して2学期を迎えるために

西部教育局
お役立ち情報
令和7年7月号

学期末の終わり方や夏休みの過ごし方は、2学期のスタートに重要な意味をもちます。全ての子どもが安心して2学期を迎えるために、期末懇談について学校全体で共通理解を図りましょう。

2学期につながる期末懇談実施のポイント(例)

期末懇談は、保護者の方に「〇〇さんのことを一緒に考えていきたい。」という思いを直接伝えることのできる絶好の機会です。短い時間の中でも、保護者の方が「話せてよかった」と思ってもらえるような時間にしましょう。

ポイント① 子どもの様子を具体的な場面を通した姿で伝える

〇〇さん、よく頑張っていますよ！お家での様子はありますか？

うちの子、何を頑張っているのかしら？



体育祭の時に、グッズ係として最後まで丁寧に制作してくれました。

家庭科の時に、ボタン付けができなくて困っている友だちに優しく声をかけてアドバイスしながら取り組んでいました。

保護者は、学校での子どもの様子を知るために来校されます。忙しいなか時間を割いて来てもらった保護者に学習状況や学校生活での様子を、より具体的な姿で伝えることが重要です。そのためにも、日々の活動のなかで「みる・きく・認める」から始まる児童生徒理解を今一度意識してみましょう。



R4.5月号
「みる・きく・認める」
からの学級づくり

ポイント② 子どもや保護者の気持ちに寄り添って伝える

〇〇さん、授業中に席を立つことが多くて。何度も言ってるんですがお家でもお願いします。

落ち着きがないことはずっと言われている。一体どうしたらいいんだろう？



〇〇の教科の授業で、とても集中して学習に取り組んでいましたよ。

席を立つときには、何か困っていることがあるかもしれません。お家でも話を聞いてあげてもらえますか？一緒に作戦を考えていきましょう。

本人の困り感などの背景を考えたり、困っていることのなかでもよい方に变化したことを伝えたりするなど子どもの気持ちに寄り添った伝え方を考えることも大切です。

ポイント③ 夏休み中の子どもを見守る取組を提案する

夏休みは、お家にいる時間が長いと思いますので、家庭でしっかりと見守ってください。

子どもは夏休みかもしれないけど私は仕事があつて日中は家にいないのに。



もし、夏休み中に悩み事や困ったことがあった時に、どのような方法で相談いただくか事前に決めておきましょう。

〇〇さんが安心して2学期のスタートがきれよう、2学期が始まる前にお電話させていただいてもよろしいでしょうか。

前年度欠席が多かった子どもが、1学期にがんばって登校していたが、長期休業後に再び欠席が見られるようになります。2学期のスタートに不安を抱きそうな子どもの姿を想定し、夏休み中にできる支援を保護者に提案したり、一緒に考えたりしていくことで信頼関係の構築にもつながります。

頑張りすぎた1学期の反動
モチベーションの低下
2学期への不安
基本的な生活習慣の乱れ 等